



カナダ林産業は森林でも工場においても環境パフォーマンスをさらに向上させるために、政府や環境団体、先住民コミュニティ、そして科学者らと協力しています。業界はVision2020の下で、環境への影響をさらに35%低減させることを約束しています。

森林における実績

カナダの森林は空気を浄化し、水分の循環を調節し、数千もの野生動物に棲家を提供しています。世界の森林の10%を預かるカナダ林産業界は、環境において世界的なリーダーとなるに至っており、カナダにおける認証森林面積は1億6000万ha以上に上ります。森林認証とは、数々の環境および社会的基準に照らし、企業が持続可能な森林管理施業を実施しているか否かを独立機関が評価するものです。カナダには世界の認証林の43%が存在し、他国を大きく引き離しています。

またイェール大学の研究により、カナダの森林法規制は世界でも最も厳格であることが認められています(www.fpac.ca/performance)。リーダーシップを取るということはすなわち期待に応えるだけでなく、それを上回る成果を求められます。カナダ企業は業界の環境実績をさらに向上させるべく、自発的かつ意欲的な取り組みを実行して、まさにリーダーシップを示してきました。カナダ林産品協会(FPAC)が会員企業に施業地の森林認証取得を義務付けているのも、その一例です。

環境面でのリーダーシップには、関係者との協働体制が含まれます。FPAC会員企業と複数の自然保護団体が、「森の中の戦争」と

林産企業の多くが
エネルギーの自給自足を
実現。化石燃料に
依存しなくなっている

バイオマスによる
グリーンな発電量は
カルガリー全体の需要に
匹敵する規模

して知られた長年に渡る対立の果てに、情報の共有と解決の模索という新たなパラダイムをもって対峙に代えようという決断に至りました。これが結実したのが2010年の歴史的なカナダ寒帯林協定(CBFA)で、これは史上最大の自然保護協定です。CBFAは問題解決を重視する協定であり、林産業の経済機会を強化しながら寒帯林における生態系への影響を低減するという、協定当事者の望むふたつの柱が反映されたものとなっています。林産業界は環境団体との取り組みを誇りとしており、CBFAのような手段を通じて建設的な協業関係を築いていこうと努力しています。



工場における変化

環境フットプリントの低減という明快かつ大きな目標を得た林産企業の工場は確実に、しかも劇的にクリーンになりました。2009年に発表された、紙パルプグリーン変革プログラム(PPGTP; Pulp and Paper Green Transformation Program)に対する10億ドルの投資などのイニシアチブが、企業による工場の環境パフォーマンス改善の一助となっています。PPGTPは98事業を助成し、紙パルプ工場の競争力を向上させ、グリーンエネルギーによる自家発電を実現させました。発電量はカルガリー全世帯を賄えるほどに達しています。

2005年以来、大気汚染物質は52%、水質汚染物質は70%も減少しています。PCBやダイオキシンといった有毒物質も排除。埋立地行きの廃棄物は2005年から30%減少しており、紙や板紙のリサ

イクル率は70%近くと、世界でもトップクラスです。石炭の使用を廃止し、2000年と比べて石油の使用量も90%以上削減しました。紙パルプ工場からの温室効果ガス排出量は1990年と比べて70%近くも減少しています。業界はまた、森林から最終製品、そして廃棄物の処理に至るまでのサプライチェーンすべてに渡って、2015年末までにカーボンニュートラルとなることを宣言しています。

林産業の環境パフォーマンスの向上は環境にとってよいだけでなく、世界中でカナダ林産品を販促するにあたって重要な武器となります。現に国際市場の顧客を対象としたレジエ・マーケティングの2014年の分析では、カナダは環境面における実務においても信用という点でも、最高の林産品サプライヤとして認識されています。カナダ林産業界は今日も将来も、環境面での信用と実績において世界のリーダーであり続けていきます。



FPAC はカナダ林産業界の声を代弁する業界団体であり、Vision2020の掲げる意欲的な目標の達成を支援し、イノベーションな新製品や市場の多様化、環境面での信頼性と実績の向上、そして技能を有する労働力を伴うことで、業界が変貌していけるよう尽力しています。カナダの有力林産企業を代表していることは、FPACの誇りです。

FPAC会員企業は全社が、歴史的なカナダ寒帯林協定に署名し、カナダにおける認証林の66%の営林に当たっています。FPACは会員企業の施業地に第三者による森林認証取得を義務付けた世界初の業界団体です。